

第13回 日本聴覚障害学生 高等教育支援シンポジウム



2017.10.28. 土 - 10.29. 日

札幌学院大学

時間
28日(土) 14:00~17:00
29日(日) 10:00~16:00

詳細は「PEPNet-Japan
ウェブサイト」から
※10月19日(木) 事前申込締切

参加費 無料
参加対象 大学等、高等教育機関に所属する教職員
大学等に在籍する聴覚障害学生
大学等に在籍する聴覚障害学生を支援する情報保障者
その他高等教育機関における聴覚障害学生支援に関心のある方々
会場 札幌学院大学(北海道江別市文京台 11 番地)



【10月28日(土)】 13:30~受付開始

- 14:00~17:00 ●アフタヌーンセッション
- ・聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト2017
 - ・教職員による聴覚障害学生支援実践発表2017
 - ・ミニセミナー
「北海道地区関連団体紹介」
「文部科学省検討会報告(第2次まとめ)と関連法」
 - ・事例討論会
「手話通訳による支援の現状と課題」
「補聴援助を必要とする学生に対する支援の現状と課題」
 - ・PEPNet-Japan 連携大学・機関パネル展示
 - ・北海道地区大学における聴覚障害学生支援に関するパネル展示

他

【10月29日(日)】 9:30~受付開始

- 10:00~12:00 ●分科会(4分科会を予定、うち一つを選択下さい)
- ①基礎講座
「のぞいてみよう!大学の聴覚障害学生支援」
 - ②10年後の聴覚障害学生支援のあり方について考える
—北海道から語る地域連携とリソース共有—
 - ③教育の質的保証と障害学生支援のあり方をめぐる問題
—合理的配慮と教育の質の間のジレンマ—
 - ④聴覚障害学生の意思表示を支える関わりとは
- 12:00~13:00 ●昼食休憩
13:00~16:00 ●全体会
- ・PEPNet-Japan 新体制に関する説明
 - ・パネルディスカッション
障害者差別解消法から1年を経て考える
—障害学生の権利・教育機関の役割—
 - ・聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト2017表彰式
 - ・閉会

※詳細は裏面をご参照下さい。



PEPNet-Japan ウェブサイト
<http://www.pepnet-j.org/>

[問い合わせ先]

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター内
●担当者: 白澤麻弓 ●TEL/FAX: 029-858-9438
●E-mail: sympo2017@pepnet-j.org

PEPNet-Japan
国立大学法人
筑波技術大学

●分科会

①基礎講座「のぞいてみよう！ 大学の聴覚障害学生支援」

支援の内容や支援を受けるまでの流れ、体制など、複数の大学の実践をもとに、大学における聴覚障害学生支援とはなにか？を学びます。

司会：須賀 朋子（酪農学園大学）
講師：池谷 航介（岡山大学）
森重 尚子（酪農学園大学）
辻川 南（酪農学園大学卒業生）
太田 琢磨（愛媛大学）

②「10年後の聴覚障害学生支援の あり方について考える —北海道から 語る地域連携とリソース共有—」

どの大学に入っても同じ支援が受けられるように、北海道を一つの例として地域連携とリソース共有についての議論を深めていきます。

司会：藤野 友紀（札幌学院大学）
講師：新國三千代（札幌学院大学）
佐々木 薫（北星学園大学）
土橋恵美子（同志社大学）
三輪 紅（要約筆記通訳者サークル「ふきのとう」）

③「教育の質的保証と障害学生支援の あり方をめぐる問題 —合理的配慮と 教育の質の間のジレンマ—」

教育や授業の本質をどのように見極め、合理的配慮を提供していけばよいか、事例をもとに議論します。

司会：松川 敏道（札幌学院大学）
講師：田口 達也（愛知教育大学）
中野 聡子（大阪大学）
柏倉 秀克（日本福祉大学）

④「聴覚障害学生の 意思表示を支える関わりとは」

グループディスカッションを通して、聴覚障害学生が意思表示に至るまでの過程や必要な支援について教職員、学生などそれぞれの立場で学び合います。（グループディスカッションを行うため、定員の都合で早めに締め切ることがあります）

講師：吉川あゆみ（関東聴覚障害学生サポートセンター）
甲斐 更紗（関東聴覚障害学生サポートセンター）
有海 順子（関東聴覚障害学生サポートセンター）
益子 徹（関東聴覚障害学生サポートセンター）

●全体会

- ・主催者および来賓挨拶
- ・PEPNet-Japan 新体制に関する説明
- ・パネルディスカッション

「障害者差別解消法から1年を経て考える —障害学生の権利・教育機関の役割—」

障害者差別解消法の施行を受け、支援体制は広がりを見せるようになってきました。反面、学生同士の関係性の希薄さや、建設的な対話を進めることが難しい学生の様子が課題として指摘されるようになってきました。支援に携わる教職員からは、教育的な視点からこれらの課題について何らかの対応が必要と感じていながらも、それは権利保障の視点から見た障害学生支援のあり方とは逆行するものではないかと躊躇する声も聞かれています。そこで、本企画

では聴覚障害学生の権利保障を見据えた支援のあり方と教育的支援の関連性について、多角的な視点から議論し検討することで、今後の我が国における障害学生支援の将来像を模索します。

司会：伊藤 康弘（北海道大学）
講師：武田 太一（日本福祉大学卒業生）
松崎 丈（宮城教育大学）
石原 保志（筑波技術大学）

- ・聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト2017表彰式

※敬称略、順不同